

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 12 月 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	0570106161
法人名	医療法人 久幸会
事業所名	りんどうの家
所在地	秋田県秋田市東通明田7-5 (電 話) 018-834-2595
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成21年12月8日

【情報提供票より】 (平成21年11月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成11年10月7日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	6 人	常勤	6人, 非常勤 人, 常勤換算 6人

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル	造り
	2階建ての	1~2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	5,000~14,000 円
敷 金	有 ( 円 )	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 円 )	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,500 円

(4) 利用者の概要 ( 11月13日現在 )

利用者人数	6 名	男性	3 名	女性	3 名	
要介護1	1	要介護2	3			
要介護3	2	要介護4				
要介護5		要支援2				
年齢	平均	77.8 歳	最低	73 歳	最高	85 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	今村病院・今村記念クリニック・今村記念歯科クリニック
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市内中心部の住宅街に古民家を借りて開設された2階建ての6名を定員とする家庭的なホームです。日常的に行われる散歩や近隣との交流、地域行事への参加、草取りや掃除当番等、地域の一員としての役割を担い、また、地域の方々の協体制もしっかりと得られており、正に地域密着型にふさわしいホームと言えます。利用者は、率先して持てる力を発揮し、ホームの一員としての役割を持ち、明るく、穏やかに過ごされています。食前の健康体操は定着しており、敷地裏の畑での収穫や無花果や柿、どくだみ茶等、利用者からの知恵をいただきながら、職員も学び、互いを思いやり、いたわり、やさしさのある安らぎを感じさせるあったかいホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	同業者との交流を通じて質の向上を図る取り組みをするため、この度地域連絡協議会が発足し、事業者間で交流が図られている他、他のグループホームへの訪問もされています。また、災害対策では、実際に夜間、地域協力員の協力を得た訓練が行われ、評価を活かした取り組みが今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目②	全職員が個別に自己評価に取り組み、各項目を理解し、記入されています。それを、管理者がまとめ、職員に提示し、納得のもとで提出されています。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目③	包括支援センター、町内会長、民生委員、知見を有する者、家族、管理者、職員が参加し、2か月に1回、定期的に開催されています。次第に沿い、利用者状況、活動状況、ヒヤリハット報告が行われ、外部評価や介護サービス情報の公表等、その時々テーマで評価・助言・要望等が出され、質疑応答で、活発な意見交換が行われています。討議内容は、運営に活かされ改善に向けて取り組まれています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目④	契約時に苦情相談窓口や投書箱の設置等の説明をされています。また、毎月の利用者の近況を電話で報告され、忌憚のない意見を出していただくよう取り計らっています。さらに、面会時やケアプラン作成時に意見や意向の引き出しが行われています。投書箱には、ホーム職員の対応を褒める投書があり、励みにされ、運営に反映されています。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	町内会に加入されており、地域の一員として町内行事への参加や会議に出席されています。また、防災訓練では、地域協力員の参加を得ての訓練が行われています。他にも困った時に手助けして下さる近隣の方や民生委員、ボランティアの協力があり、馴染みのお宅への訪問等、日常的に地域の方々とのお付き合いがあり、連携が取られています。

## 2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の立場になって、地域の中でやすらぎを感じるように思いやりといたわり、やさしさを持って接することを理念に掲げ、質の高いケアを目指しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	出勤時、立ち止り、一読してから入室され、さらにミーティングや申し送り等で話され、理念の実践に向けて取り組まれています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	花や収穫した野菜のお裾分け、困った時の手助けに駆け付けてくれる近隣の方、町内会に加入し、地域の草取り、夏祭り、救命講習会、ゴミ置き場設置等に係る行事に参加し、地域の一員として、地元の方々と自然な交流が図られています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価の意義を理解され、一つ一つの項目を咀嚼され、評価を活かし、向上に向けて、積極的に取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度の運営推進会議が定期的に行われ、活発な意見交換、アドバイス等があり、サービスの向上に活かした取り組みをされています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者との連携は、法人を通して、相談や情報の提供等の情報交換が行われ、ホームに伝えられ、サービスの質の向上に繋がっております。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月電話にて状態及びホーム内の出来事や様子が報告され、連絡ノートを通して、報告内容や家族からのメッセージ等が全職員に周知される仕組みを取られています。また、金銭管理については、毎月、出納帳や領収証のコピーの送付が行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に窓口等の説明をされ、さらに投書箱の設置もあります。投書箱には、職員を褒める温かいご意見も頂いております。面会時には、意見を引き出す働きかけも行われております。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員不足時には、デイケアで馴染みとなっている職員の応援があり、退職や新任職員については、きちんと自己紹介がされ、歓迎会や送別会で区切りを持って接しており、利用者へのダメージも少なく済んでいます。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の研修課を通して、職員全員研修や状況に応じた外部研修への参加があり、さらに個々に希望する研修に参加し、ミーティング時に報告が行われています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	秋田市のグループホーム連絡会が設立され、職員研修や管理者研修を通して交流が図られています。また、同法人のグループホームへは、利用者と共に訪問され、交流を深めています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が安心してサービスを利用できるように、数回の見学によって職員や他の利用者とのふれあいの機会を作っています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	アセスメントによって得た情報によって得意な分野を継続していただけるように利用者本位のサポートが行われています。また、共に学び、支えあう関係づくりが行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自らの意思を伝えることのできる利用者が多く、利用者一人一人が意思表示できる機会を作り、意向に沿ったケアに努めています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	プラン作成前に、思いや意向の把握に努め、本人がより良く暮らすための課題やケアの在り方について、担当者会議で話し合われた内容が反映されたケアプランが作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランは、3か月の目標が立てられ、毎月のモニタリング、担当者会議によって見直しが行われています。また、状態変化時には、随時、家族に報告が行われ、希望や意向を伺い、プランに反映した見直しが行われています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望に応じて、買い物や墓参り、受診等の付き添いが行われ、柔軟に対応されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望によって、協力医療機関や入居前に利用されていたかかりつけ医が利用できるように、支援されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人内で方針が決められており、説明、納得した上での利用となっており、レベルが低下され、グループホームでは対応できないと考えられた時、主治医、本人、家族が納得した内容で対応が行われています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉の掛け方や対応によって、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、尊厳を持って接しております。また、記録等の個人情報については、イニシャルを用い取扱いには十分に配慮されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本意の生活空間が保てるように、利用者一人ひとりの思いやペースを尊重され、その人らしい希望に沿った支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	男女を問わず台所に立たれ、盛り付けや食材切り、食卓の準備、後片付け等、利用者が率先して行い、食前の健康体操によって唾液の分泌を良くし、食事に集中して食していただき、食後に会話を楽しまれている様子がうかがえました。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、毎日、入りたい時にいつでも入れるように浴槽に湯が張られ、希望に応じて入浴できるように支援されています。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や経験を活かし、できること・できそうなことを見つけ出し、楽しみながら、自発的に関わりが持てるように支援されています。また、趣味が継続できるような環境作りをされ、楽しみ事として張り合いや喜びのある生活を支援されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩や買い物に出かけたり、近隣のお宅に訪問したりされています。また、希望の場所への外出、家族や友人の協力を得て山菜採り等に出かけたりされています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、玄関にはセンサーを取り付けて対応されており、全く鍵はかけられておりません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年間計画が立てられ、2月に1回、地震・火災想定防災訓練が行われています。地域協力員の参加を得て、夜間に火災が発生したことを想定した夜間体験訓練も行われています。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状況を把握され、病歴や食事摂取状況、水分量に配慮され、同法人の管理栄養士による献立によって、栄養バランスのとれた食事が提供されています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家を借りてのホームであり、すべてにおける共有空間が一般家庭と何ら変わらず、テーブルやソファ、テレビ、本棚等が使いやすく配置され、季節感のある装飾品や利用者の作品が展示され、居心地の良いものとなっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者本人が身の回りで使用していたものが持ち込まれ、在宅時と変わらない趣味や楽しみ事ができる生活空間を作り出しており、温かみが感じられます。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。